

2012・2013（平成24・25）年度 八王子市都市政策研究所 最終報告書  
日常生活圏に着目した市民サービスの充実  
—隣接自治体等との連携による地域課題の解決を目指して—

八王子市都市政策研究所 主任研究員 西澤 篤司  
専門研究員 小川 美由紀

目次

はじめに（八王子市都市政策研究所 所長 羽貝 正美）	1
序論	2
1. 本研究の問題意識	2
2. 本研究の目的と構成	2
(1) 調査研究全体の目的と方法	
(2) 本報告書の構成	
3. 中間報告書（2012年度研究成果）の概要	3
第1章 八王子市における市境地域の現状と課題	6
1. 聴き取り調査にみる市境地域の現状	6
(1) 公共交通	
(2) 予防接種	
(3) 公共施設の相互利用	
(4) 情報共有	
2. 自治体間連携によって市民の不便さを解消している事例—図書館連携—	10
(1) 連携に至るプロセス	
(2) 現状と仕組み	
(3) 実績	
3. 課題の背景にある要因	13
(1) 市境を越えて広がる市民の日常生活圏に対する認識が不十分である	
(2) 市域内での市民サービス提供の公平性を一律の基準で判断している	
(3) 自治体間における同等の負担を連携の条件としている	
(4) 様々な主体との連携に対する認識が不十分である	
第2章 地域課題の解決に向けた連携の先行事例	16
1. 日常生活圏における無料予防接種の確保	16
(1) 連携に至るプロセス	
(2) 現状と仕組み	
(3) 行政側の現状認識	

<b>2. 民間事業者との連携によるコミュニティバスの相互乗り入れ</b>	<b>18</b>
(1) 連携に至るプロセス	
(2) 現状と仕組み	
(3) 行政側の現状認識	
<b>3. 公共施設の相互利用</b>	<b>23</b>
(1) 連携に至るプロセス	
(2) 現状と仕組み	
(3) 行政側の現状認識	
<b>4. 利用者の日常生活圏に配慮した情報の相互提供</b>	<b>27</b>
(1) 連携に至るプロセス	
(2) 現状と仕組み	
(3) 行政側の現状認識	
<b>5. 小括</b>	<b>29</b>
<b>第3章 結論：日常生活圏に着目した市民サービスの充実</b>	
<b>—隣接自治体等との連携による地域課題の解決を目指して—</b>	<b>30</b>
<b>1. 八王子市における市境地域の現状と課題</b>	<b>30</b>
(1) 聴き取り調査にみる市境地域の現状	
(2) 課題の背景にある要因	
<b>2. 地域課題の解決に向けた連携の先行事例</b>	<b>33</b>
(1) 他自治体の取り組み	
(2) 市境地域の課題解決のために行政に必要な姿勢	
<b>3. 日常生活圏に着目した市民サービスの充実</b>	
<b>—隣接自治体等との連携による地域課題の解決を目指して—</b>	<b>35</b>
(1) 必要に応じ市境を越えて市民サービスを提供する	
(2) 市域を越えても行政が担うべき役割を明確にする	
(3) 「競い合うことで質が向上するサービス」と「連携し合うことで大きな効果が期待できるサービス」を区別する	
(4) 多様な主体との連携によって課題の解決を図る	
<b>4. 結びにかえて</b>	<b>38</b>
<b>おわりに（八王子市都市政策研究所 所長 羽貝 正美）</b>	<b>39</b>
<b>謝辞、注、参考文献、参考ホームページ</b>	<b>40</b>
<b>八王子市都市政策研究所 研究体制</b>	<b>42</b>